

イベントを主催される皆様へ

新潟市北区文化会館（令和2年10月20日版）

感染防止のための基本的な考え方

1. 三つの密「密閉・密集・密接」を最大限に避ける対策が取られている。
2. 人と人との距離の確保、対面を避ける対策が十分になされている。
3. マスクの着用、手洗いなどの手指衛生が徹底されている。

本紙は上記3つが適切に守られていることを前提とした上で、イベントを主催する立場の方々からより細やかな感染症対策を検討・実施いただくために考え得る対策を提案するものです。

主催者様におかれましては、本紙の内容と併せて各業界が発表しているガイドラインを参考としながらより状況に即した感染拡大予防策を検討・実施していただくようお願い申し上げます。

（本紙は新潟市文化政策課「新しい生活様式に基づく新潟市文化施設の利用に関するガイドライン(令和2年7月31日第5訂版)」、新潟市・アーツカウンシル新潟「新潟市文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン(令和2年7月1日初版、令和2年9月25日改訂)」等を参考としています）

太字、黒丸(●)の項目は、特にご協力をいただきたい事項です。

公演前

- 各施設の収容定員を厳守する（別紙1参照）。
- 感染症対策及び注意事項について十分に周知する。（例①～③）

例① 次に該当する場合は来館をご遠慮ください。

・以下1～3のような症状があるとき。

1. 発熱（平熱より0.5℃以上高いとき、または熱っぽさを感じる時）
2. 風邪の症状（咳、息苦しさ、だるさ、のどの痛み、水・鼻づまり、頭痛等）
3. 体調不良（目の痛み・充血、味覚・嗅覚の違和感、筋肉痛、下痢、吐き気等）

・同居するご家族、身近な知人に感染が疑われる方がいるとき。

・過去14日以内に、入国・渡航が制限されている国、または感染拡大がみられる地域との往来があるとき。それら地域に住んでいる方との濃厚接触が疑われるとき。

例② 必ずマスクを着用してご来館ください。

例③ 状況によっては公演の直前に中止・延期を決定する可能性があります。

- **お客様、公演関係者の氏名と緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。**
 - 感染が発生した場合など必要に応じて、公的機関（保健所等）へ提供される可能性があることを事前に周知する。
 - 接触確認アプリ（COCOA）のインストールを促す。
- **手指用の消毒液、拭き取り清掃用の洗剤（別紙 2 参照）を用意する。**
- 体調の優れない方、感染が疑われる方が待機できる場所（救護室）を用意する。
- 高齢の方、持病のある方の来場が多く見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いとされていることから、より慎重な対応を検討する。

公演当日

- **次に該当する方は入場をお断りする。**
 - 来場者側での自己検温、もしくは主催者側における入場前の検温で発熱（平熱より 0.5℃以上高い熱）が認められた方。
 - 咳、のどの痛みなどの風邪症状、そのほか体調不良について自覚症状がある方。
- **来場されたお客様へ、感染症対策を適時アナウンスする。（例①～⑤）**
 - 例① 館内ではマスクを着用してください。マスクをお持ちでない方は、ティッシュやハンカチで鼻・口を覆うなどの対策をお願いします。
 - 例② せっけんでの丁寧な手洗い、手指用消毒液での消毒をこまめに行ってください。
 - 例③ 隣の方と手が触れないくらいの距離を保ってください。
 - 例④ 会場内での会話は控えめにお願いします。
 - 例⑤ 気分の優れない方は、速やかにお近くのスタッフへお申し出ください。
- **汗や飛沫の発生する運動、発声や楽器演奏を伴う活動（ダンス、合唱、カラオケ、吹奏楽、演劇など）の終了後には、使用した備品と床面の清掃を十分に行う。**

〈舞台上での配置について〉

発声や演奏に伴い飛沫が発生する場合には、その向きや距離を意識していれば、必ずしもマスクを着用しなければならないものではありません。飛沫が発生する合唱(カラオケを含む)や吹奏楽、演劇等については、以下の点に十分に配慮して、実施してください。

- ・ 対面での発声や演奏は避け、原則、一列で一方向を向いて行ってください。
- ・ やむを得ず、列を複数つくる場合には、飛沫が飛び散る方向に 1m の距離を確保してください。
- ・ 対面する指導者や指揮者との距離は 2m 確保してください。

新潟市 文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン(令和 2 年 9 月 25 日改訂)より抜粋

● **多くの人が触れる場所（ドアノブ・イス・照明スイッチ等）の消毒、換気を徹底する。**

北区文化会館の貸し出し楽器(ピアノなど)を使用するとき

- 利用前に必ずせっけんで手指を丁寧に洗ってください。
- アルコール成分を含む手指用消毒液を使用したときは、手をしっかりと乾かしてから楽器に触れてください。
- 利用後は専用クロスなどのやわらかく、乾いた布で拭いてください。
- アルコール成分を含む除菌シートなどは楽器の変色・ひび割れ等の原因となります。絶対に使用しないでください。

● **体調不良者（感染が疑われる方）が発生した場合の対応について。**

- ① 対応するスタッフは、必ずマスクと手袋を着用する。
- ② 公共交通機関を使わない方法での帰宅、自宅待機を促す。
- ③ 体調の悪化が顕著であるときは速やかに別室へ隔離し、医療機関へ連絡、指示を受ける。

○ お客様へ向けた感染症対策例

- ロビーやホワイエ、トイレ等の混雑を避けるための対策を講じる。（十分に余裕のある入退場時間を設ける、動線を確保する、必要な人員を配置する 等）
- トイレやロビーの混雑を避けるため、休憩の回数と時間を増やす。
- チケット確認（もぎり）は目視、またはお客様自身に半券を切り取ってもらう。
- パンフレットやアンケートの配布を行うスタッフは必ずマスクを着用し、手指の消毒を頻繁に行う。配布物を事前に座席へ配置する等の対策も考えられる。
- ロビーやホワイエでの、必要な水分補給以外はなるべく控えるように呼びかける。
- ひざ掛け、オペラグラス等の貸し出し品があるときは、十分に消毒を行う。消毒ができない場合は、貸し出しを行わない。（文化会館所有のひざ掛けは貸出し休止中、この他貸し出し品については事前打ち合わせにて要相談）
- クロークサービス等を行わない場合は、最小限の手荷物での来場を促す。
- 次のような行為は控えていただくようお客様へ呼びかける。
出演者の入り待ち・出待ち　花束やプレゼント・差し入れ　握手会
サイン会　ロビーや会場内における大声での歓談　出演者への面会　等
- 出演者とお客様が接触するような演出は極力行わない。
声援を惹起する　出演者が客席へ降りる　お客様を舞台に上げる　等

○ 公演関係者へ向けた感染症対策例

- 公演の運営に必要な最小限の人数とし、感染症対策について十分に周知する。
- 館内ではマスクの着用を原則とする。舞台演出上困難な場合は、出演者同士の間隔を十分にとるなどの代替策を講じる。
- 仕込み～リハーサル～撤去までのスケジュールは、通常よりも十分に余裕をもって計画する。特に撤収時の清掃作業に時間がかかることに留意する。
- 物品の共有をできる限り避ける。
 - ・ 機材や備品を取り扱う人を限定し、不特定者が接触することを避ける。
 - ・ ケータリングではできる限り使い捨ての紙皿、紙コップ、飲み切りサイズのペットボトル飲料等を用意する。
 - ・ 物品に触れる前の手指消毒を徹底し、使用する毎に拭き取り消毒を行う。 等

○ 物販での感染症対策例

- 必要な人員を配置し、待機列の間隔を十分に空けるようにお客様を誘導する。
- 物販に関わるスタッフは必ずマスクを着用し、こまめに手指の消毒を行う。
- 対面で販売をする場合、透明なビニールカーテン等で購入者との間を遮蔽する。
- 多くの方が触れるようなサンプル品、見本品は取り扱わない。
- オンライン販売、キャッシュレス決済の導入を検討する。

公演後

- **参加者、入場者の名簿は公演終了後、1 ヶ月間ほど保管する。必要に応じて公的機関（保健所など）による聞き取りに協力し、情報提供を行う。**

個人情報の取り扱いには十分に配慮し、期間を過ぎたものは適切に処分する。

新潟市北区文化会館

感染症対策としての収容人数変更について（令和 2 年 10 月 23 日版）

（単位：人）

	通常定員 (100%)	～11 月末 までの定員	制限定員 収容率 50%以内
ホール（客席）	557	557	278(※)
ホール（舞台）	—	64 公演関係者を含まない	64 公演関係者を含まない
練習室 1	100	80 公演関係者を含む	64 公演関係者を含む
練習室 2	28	28	14
練習室 3	8	8	4
練習室 4	20	20	10
会議室	24	24	12
保育室	10	10	5
楽屋 1	6	6	5
楽屋 2	8	8	6
楽屋 3	16	16	10

○ 「～11 月末までの定員」での利用が可能である条件

- ・ 参加者（観客）からの歓声、声援、唱和、合唱など、大声での発声が想定されない。
- ・ すべての参加者のマスク着用、手指衛生など基本的な感染防止対策が確実に講じられている。

○ 「制限定員（収容率 50%以内）」での利用とする場合

- ・ 参加者（観客）からの歓声、声援、唱和、合唱など、大声での発声が想定される。
- ・ 飛沫感染リスクが高いとされる活動を行う。

歌唱（合唱、カラオケ、歌の練習）、吹奏楽（吹奏楽器の演奏）、詩吟 等

※ 客席の収容率について

異なるグループ間では座席を 1 席（立席のときは 1m）ずつ空ける。ただし親子などの同一グループ（5 名以内）では間隔を空けなくとも良い。このため、収容率は 50%を超える場合もある。

【参考】

各種イベントにおける大声での歓声・声援が無いことを前提としうる／想定されるものの例

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
【音楽】 クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート	【音楽】 ロックコンサート、ポップコンサート 等
【演劇等】 現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	【スポーツイベント】 サッカー、野球、大相撲 等
【舞踊】 バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	【公営競技】 競馬、競輪、競艇、オートレース
【伝統芸能】 雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦踊 等	【公演】 キャラクターショー、親子会公演 等
【芸能・演芸】 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	【ライブハウス・ナイトクラブ】 ライブハウス、ナイトクラブにおける各種イベント
【公演・式典】 各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
【展示会】 各種展示会、商談会、各種ショー	

- ・ 上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれかに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある。
- ・ イベント中の食事を伴うものについては、「大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの」として取り扱わない。

（令和2年9月11日付け内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長通知より抜粋）



消毒や除菌効果をうたう商品は、目的に合ったものを、正しく選びましょう。

➤ チェックポイント

使用方法 有効成分 濃度 使用期限

※ 商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① 手指のウイルス対策

こまめな手洗いを心がけましょう。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いをすることで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。



② 物品のウイルス対策

テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。

塩素系漂白剤等の詳しい情報はこちらから！

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf



家庭用洗剤等の詳しい情報はこちらから！

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200522009/20200522009-1.pdf>



③ 空間のウイルス対策

定期的に換気してください。



注) まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。

